

令和5年度 職員評価 <児童発達支援事業>【集約】

令和6年3月27日

留萌市子ども発達支援センター

職員12名～回収率100%

①丸数字はそれぞれ対応 ・は関連なし

| チェック項目      |   | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | 工夫、課題（要約）   | 改善策   |
|-------------|---|----|---------------|-----|---|---|
| 環境・<br>体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。                             | 4  | 6             | 2   | ①2コマ目の時間をさけたい保護者が多い。保育園の給食時間とかぶったり、幼稚園は休まなければならないなどの理由が多い。<br>②職員間で調整する等して指導はできているが、曜日や時間帯によっては手狭に感じることがある。<br>・利用人数によって足りないこともある。2～3人でのグループ活動等に変更し、対応している。指導スペースの確保や予約方法等の課題はある。<br>・支援内容に合わせてグループ活動を取り入れるなどして、指導場所を確保した。<br>・人数が多いと部屋が当たらないことがある。 | ①未満児、年少児については、2コマ目の勧めを行っていく。<br>②利用者のニーズにこたえつつも、保護者に実情を説明し、指導時間を変更してもらう等の協力を今後も仰いでいく必要があると考える。<br>・利用定員が超えている際に当日ではなく、人数が確定している時点で指導室の割り振りを行えると指導準備も安全に行えるのではと感じます。 |
|             | 2 職員配置は適切であるか。  | 8  | 3             | 1   | ・休職中の職員もおり、人材不足、いっばいっばいのように感じる  | ・現状の職員体制に慣れてしまっている部分もありますが、訪問支援や療育センターへの同行等全体的に外勤も多いので、業務量を考えると支援が手薄になると思います。   |
|             | 3 生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。    | 12 |               |     | ①夏場の高温時や冬場の低温時の室内の温度調整が難しいが、子どもの状況を見ながら喚起や扇風機を使用する等の対応は行ってきた。<br>・月初めの室内点検、毎日の室温チェックを行っている。<br>・消毒作業を続けている。<br>・朝早く来て、掃除等の環境整備をしている。<br>・感染予防に配慮している。   | ①1月～2月のプレイルームは床暖だけでは寒く、暖房器具の設置が必要である。   |
| 業務改善        | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか。            | 8  | 4             |     | ①事業の流れを理解し、PDCAサイクルに沿って適切な期間に振り返り、目標設定をしている。記録等に要する時間が負担になっており様式の変更を考えたい。<br>・事業の流れを理解し、PDCAサイクルに沿って適切な期間に振り返り、目標設定をしている。記録等に要する時間が負担になっており様式の変更を考えたい。<br>・保護者と支援計画を確認することで、指導の振り返りを行っている。<br>・支援計画、モニタリングをしている。書類を作っていない人もいるため、「広く」かはわかりません。       | ①指導記録等の書類の様式を見直ししていく。   |
|             | 5 職員評価及び保護者評価の結果を踏まえ、事業所としての評価を行い、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。 | 11 | 1             |     | ①保護者評価（アンケート）はアプリの活用を継続している。ホームページで公開しているが見る人はどの程度いるのか。   | ①ホームページに加え、アプリでも評価結果を公表する方向性で検討する。  |
|             | 6 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか。                            | 12 |               |     | ①今年度も医療受診や養護学校見学等に同行する機会を増やしている。集合研修も少しずつ増えている。<br>②市外に出る研修も少しずつ増えている。<br>③オンラインでの研修なども気軽に受けられるようになって、学ぶ機会は増えた。<br>・研修はあるが、担当時の指導もあるため、確保が難しい時もある。  | ①事例検討など、事業所内での研修も増やしていけるようにしたい。<br>②研修に参加することによって、新しい知識を磨いていく。<br>③指導内容や支援計画の立て方など共通理解を図りたい。  |
|             | 7 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で支援計画を作成しているか。     | 11 | 1             |     | ・保護者と懇談する回数が増え、お子さんの発達について一緒に考える、確認し合える時間が持て、支援計画にも反映できている。<br>・市外に出る研修も少しずつ増えている。<br>・オンラインでの研修なども気軽に受けられるようになって、学ぶ機会は増えた。<br>・研修はあるが、担当時の指導もあるため、確保が難しい時もある。<br>・集団、家での様子を聞き取り、集団の先生にも課題を確認している。  |   |
|             | 8 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。              | 10 | 2             |     | ①アセスメント・発達確認シートを活用し、保護者説明や関係機関への情報提供に使用している。見やすく端的にわかりやすくを心がけているがまとめるのは難しい。   | ①シートの内容や様式はもっと見やすく作成しやすいように修正を検討したい。  |

|              |    |   |    |   |  |  |
|--------------|----|---|----|---|--|--|
| 適切な支援の提供     | 9  | 支援計画に沿った支援が行われているか。   | 11 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者とのモニタリングや懇談の回数を増やしたことで、その都度振り返りができるようになり、支援計画に沿った支援につながってきている。</li> <li>・支援内容の簡潔さとわかりやすさに課題があると思われる。</li> </ul>   |  |
|              | 10 | 子どもの状況に応じて、個人活動と集団活動を適宜組み合わせ、支援計画を作成しているか。                    | 12 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・その子に合わせた環境を整えられている。</li> <li>・集団活動の必要性が高い子については、保護者の都合に合わせて集団活動の日程を調整し、1回は経験できるようにした。</li> <li>・個別指導に加え、年長児Gや少人数活動など、同年齢・異年齢児との活動を支援内容に盛り込み、社会性や集団行動に対するアプローチも行っている。</li> </ul>  |  |
|              | 11 | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。           | 8  | 4 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援開始前と毎週定期的に職員会議を行い、確認している。</li> <li>・利用する部屋、教材についてはその都度話し合いながら決めている。</li> <li>・必ずではないが、共有しながら行っていると思う。</li> <li>・使う部屋、一緒に遊ぶ活動は相談している。ほのぼのの記録を確認するようにしているが、内容が入っていない人も多い。</li> <li>・システムによって利用者情報が一元化され、いつ誰が何をすることが職員間でPC上で確認し合えるようになっており活用され、内容をみて一緒に活動する場面も増えている。</li> </ul> |  |
|              | 12 | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。      | 6  | 6 | <ul style="list-style-type: none"> <li>①指導の合間の時間を活用し、職員同士でお子さんや保護者の様子について振り返りができている。</li> <li>②話し合いに必要な十分な時間の確保が難しい。</li> <li>・改めて打ち合わせの場は設けていないが、情報共有・支援方法の検討は実施している。</li> <li>・必ずではないが、共有しながら行っていると思う。</li> <li>・隣の席と雑談程度</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①定期的にお子さんの支援の様子についての情報共有の場があっても良いかもしれない。</li> <li>②職員会議後等、職員がそろう時間に実行していく。</li> <li>・年2回程度、職員全体でのケース検討会議を行い、情報共有や支援内容について、の話し合いの場があるとよい。</li> </ul> |
|              | 13 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                        | 12 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①システム導入で、給付費請求と連動したことで、記録漏れが減少したが、職員によっては毎回記載量が多く、時間がかかりすぎている印象。</li> <li>・支援時間の合間に記録を取っている。記録の取り方の工夫を心がけている。</li> <li>・記録アプリでの共有が職員間でできるようになり、確認作業の時間短縮につながっている。</li> </ul>  | ①記録様式の見直しを図りたい。  |
|              | 14 | 定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか。                           | 12 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学を迎える児等、必要に応じて複数回に分けて懇談するなどの工夫もしている。</li> <li>・基本的に半年に1回</li> </ul>   |  |
| 関係機関や保護者との連携 | 15 | 障害児支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。             | 12 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当が入るようにしている。担当以外の勝手な情報（まだ言ってほしくないこと）でゴチャゴチャすることもある。</li> <li>・原則児発管（資格保有者）が参加している。</li> </ul>   |  |
|              | 16 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。                       | 12 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①保健師や子育てとの打ち合わせも定期的に行われている。</li> <li>・乳幼児健診にも職員が参画している。</li> <li>・年に数回会って話したり、電話で情報共有している。</li> </ul>   | ①保健師との打ち合わせには児発管以外の指導員も参加できるようにする。   |
|              | 17 | 移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 12 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健診にも職員が参画している。定期的に情報を共有し、子ども理解につながっている。</li> <li>・年に数回会って話している。電話での情報共有もある。</li> <li>・ケース連絡会議の他、訪問や見学する回数が増え、情報共有でき、先生との信頼関係も深まっている。途中入園の方にも随時対応している。</li> </ul>  |  |
|              | 18 | 移行支援として小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。            | 12 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学前にケース会議をしている。</li> <li>・年1回に捉われず、訪問や見学の際にその都度、情報共有会議を開催している。</li> </ul>  |  |

|              |                                      |   |    |   |   |  |  |
|--------------|--------------------------------------|---|----|---|---|--|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 19                                   | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。                  | 11 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>①研修や医療受診同行等で直接関係機関と話し合う機会を持っている。また就学や転居予定、新規医療受診等の方に対する受診・見学同行や情報共有会議を開催している。</li> <li>②医療機関には同席することが増え、日々の療育に生かしている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学支援につながる研修を受けている。</li> <li>・旭川子ども総合療育センター受診に同行し、医師や専門職から適切な助言を受け、日々の療育で実践することができている。</li> <li>・療育センター、こどもっくるに同席し、助言を受けている。</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>①職員の負担はかなりあるが、保護者の安心やより良い支援に繋がるので対応できる限り継続して取り組んでいきたい。</li> <li>②他の児童発達支援センターとの交流が取れるのであればいろいろな施設で学んでみたい。</li> </ul>  |  |
|              | 20                                   | 地域の子ども・子育て支援会議へ積極的に参加しているか。   | 6  | 4 | 2   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子ども・子育て支援会議」への参加は行っていない。</li> <li>・実施回数自体は少ないが、できるだけ参加するようにしている。</li> </ul>   |  |
|              | 21                                   | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                            | 12 |   |   |  |  |
|              | 22                                   | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対し家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）等の支援を行っているか。                 | 4  | 7 | 1   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・方法を伝え、家庭で実践してもらい、やってみての変化の確認をしている。</li> <li>・ペアトレ等の家族支援ができるための職員のスキルアップを図っていききたい。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者研修等を計画していききたい。</li> <li>・”ペアレント・トレーニング”として、枠があってもいいのかなと思う。</li> </ul> |
| 保護者への説明責任等   | 23                                   | 保護者会等を開催するなど、保護者同士の連携を支援しているか。  | 3  | 8 | 1   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①保護者向けの研修会の開催は来年度以降の課題でもある。</li> <li>・コロナ等もあり、保護者会は実施できていない。</li> <li>・指導内で同じ学校、同じ放デイ同士で話ができる機会ができていた。</li> <li>・行事に誘ったり、同じ時間帯の親同士をつなげている。LINEの交換をして、情報共有するようになった人もいる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①保護者の要望の聞き取りもしながら、市民セミナーの中に保護者向けの内容の研修を組み込むなどしていききたい。</li> </ul>          |
|              | 24                                   | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 12 |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話での相談やなるべくその日に会って話せるようにしている。</li> <li>・希望があればすぐに対応している。今年度も利用者以外の方の相談についても適時応じており、支援や医療に繋がるケースも増えている。今後も継続し、周知もしていきたい。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談がある場合は、内容をよく聴き親御さんが安心できるように対応したい。</li> </ul>                           |
|              | 25                                   | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。                          | 12 |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①アプリでの通信配信を継続している。通信は写真も多く活用する等、紙面の工夫をしている。定期配信以外にも気軽に情報発信していけるようにしたい。</li> <li>・通信で発信している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>①行事前のお知らせなども検討していきたい。</li> <li>・写真の掲載について（プールなど）検討が必要</li> </ul>          |
|              | 26                                   | 個人情報の取り扱いには十分注意しているか。   | 11 | 1 |   |  |  |
|              | 27                                   | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                       | 12 |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・常に情報が伝わっているか確認し、工夫し伝えている。</li> <li>・指導の中で、実際に見てもらい、理解につなげている。</li> </ul>   |  |
|              | 28                                   | 行事に地域住民を招待する等、地域に関われた事業運営を図っているか。   | 12 |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①市民セミナーを実施した。</li> <li>②市民セミナーだけでなく夏祭りも開催できた。もっと多くの地域の方や市民の方に参加して頂けるような工夫をしていきたい。</li> <li>・コロナ禍でできなかった行事を開催することができた。</li> <li>・夏祭りではポスターを作成し各事業所の他に市役所、はーとふるなどの公共の場にも貼ることで、近隣以外の地域住民にも来てくれていた。</li> <li>・夏祭りがあった。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>①”来てもらう”形のままでもいいのか、開催の形に検討が必要では。</li> <li>②周知方法や内容の工夫など</li> </ul>        |
|              | 29                                   | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知すると共に発生を想定した訓練を行っているか。          | 6  | 6 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルは策定されているが、実施訓練は不十分と思われる。</li> <li>・すべてはしていない。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成したマニュアルを見直し、発生を想定する訓練を企画する。</li> </ul>                                 |
| 30           | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 12  |    |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は大規模訓練を春に行った。</li> <li>・年間2回の避難訓練を実施・消防署員、消防隊員と一緒に大規模な訓練を行い、通報、避難、救出方法を詳しく知ることができた。</li> </ul>   |  |  |

|         |    |  |    |   |   |  |                           |
|---------|----|--|----|---|---|--|---------------------------|
| 非常時等の対応 | 31 | 事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。                                       | 11 | 1 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>入園時に確認している。</li> <li>入園時、病院受診後等には確認を行っているが、途中変更もあり得るので、より頻回に確認するようにしていきたい。</li> </ul>                     |                           |
|         | 32 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。                                  | 11 | 1 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>重篤なアレルギー児はいないが、保護者から医師との確認事項を入念に聞き取り、対応をしている。</li> <li>入園時に確認している。</li> </ul>                             |                           |
|         | 33 | ヒヤリハットの事例集を作成して事業所内で共有しているか。   | 10 | 2 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①月1回の施設点検時に環境についても確認している。</li> <li>業務担当者が聞き取るなどして事例集を作成している。</li> <li>あまりしていないのでは。時間もない。</li> </ul>       | ①日ごろからヒヤリハットに気付く目を持ってほしい。 |
|         | 34 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                     | 10 | 2 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>虐待防止に関する研修を受講した。</li> </ul>   |                           |
|         | 35 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、支援計画に記載しているか。 | 6  | 5 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>身体拘束が必要な子がいないため、説明していない。</li> <li>左記のようなケースについては、センター会議等を利用し、職員間でより細かく共通理解を図っていけると、更に良いのではないか。</li> </ul> |                           |

### 【まとめと今後の方向性】

「どちらとも言えない」「いいえ」の割合が比較的高かった事項を中心に、今後の方向性を示します。

- ・1 ～利用定員が超えている際には、できるだけ前日までに、人数が確定している時点で指導室の割り振りを行うようにする。
- ・2 ～人的配置はすぐには改善が難しいため、業務遂行の効率化と時間の有効活用を一層進めていきたい。
- ・3 ～施設の構造上また安全上火気の使用は難しいと考える。設定温度を上げるなどで対応したい。
- ・4 ～指導記録等の書類の様式を見直ししていく。
- ・5 ～ホームページに加え、アプリでも評価結果を公表する方向性で検討する。
- ・6 ～事例検討などを通し、指導内容や支援計画の立て方など共通理解を図るための研修も増やしていけるようにしたい。
- ・7 ～ニーズや課題を踏まえた支援計画の作成は指導の最も基本となるところなので、適切なアセスメントを今後も意識したい。
- ・8 ～シートの内容や様式はもっと見やすく作成しやすいように修正を検討したい。
- ・12 ～定期的にお子さんの支援の様子についての情報共有の場があっても良いのかもしれない。職員会議後等、職員がそろった時間の有効活用を進めたい。
- ・19 ～職員の負担は大きいですが、保護者の安心やより良い支援に繋がるので対応できる限り継続して取り組んでいきたい。他の児童発達支援センターとの交流等も含めて、研修等の機会は積極的に活用したい。
- ・22 ～保護者に対する支援や研修を充実させるためにも職員のスキルアップも図っていく必要がある。
- ・23 ～保護者の要望の聞き取りもしながら、市民セミナーの中に保護者向けの内容の研修を組み込むなどしていきたい。横のつながりを望む保護者が多ければ、どのような場面が適切か検討し、提案していく。
- ・29 ～作成したマニュアルを見直し、発生を想定する訓練を企画する。また、感染症に関する訓練も新たに実施する。
- ・35 ～指針等は作成済みなので、必要な時のために周知と確認をする。